

**FUNCTION 1**

除菌

---

**EVIDENCE**

除菌性

抗菌性

抗かび性

消臭性

---

資料一覧

## 試験結果報告書

依頼者名 株式会社 1 Line 殿  
品名 生地 菌滅 S 1 点  
試験項目 ウエットワイパー類の除菌性能試験

2021年7月16日提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

2021年10月12日

一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター  
神戸試験センター 森



### 記

#### 1. 試験施設に関する情報

- 施設名称 : 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター 神戸試験センター
- 施設住所 : 神戸市中央区下山手通5-7-3
- 試験担当者 : 森 仁美

#### 2. 試験試料

検体	ロット番号
生地 菌滅 S	—

- 試験試料受領日 : 2021年7月16日
- 保管方法 : 遮光、室温にて保管

#### 3. 試験条件

- 試験方法 : 一般社団法人日本衛生材料工業連合会 ウエットワイパー類の自主基準
- 試験実施日 : 2021年10月4日
- 試験菌種 (継代回数) : *Escherichia coli* NBRC 3972 (継代3回)
- 不活化剤の組成 : SCDLP プイヨン培地 (栄研化学)
- 試験試料使用枚数 : 1枚

試験結果

不活性化剤の有効性確認

大腸菌 (*Escherichia coli* NBRC 3972)

検体	生菌数平均値(CFU/ml)	NT / NC
不活性化剤のみ (NC)	$1.3 \times 10^2$	—
生地 菌滅 S	$1.2 \times 10^2$	0.903

除菌性能試験結果

大腸菌 (*Escherichia coli* NBRC 3972)

検体	生菌数 常用対数平均値	除菌活性値
乾燥直後 (Ne)	6.70	—
対照試料 (Nc)	5.51	—
生地 菌滅 S	3.23	2.3

\* 試験結果詳細

- ・別紙 1 : 除菌性能試験結果 (大腸菌)
- ・別紙 2 : 不活性化剤の有効性確認試験結果 (大腸菌)

以上



## 別紙2

不活性化剤の有効性確認試験結果(大腸菌)

関連報告書No. : 21KB040573

2021年10月12日  
(一財)日本繊維製品品質技術センター  
神戸試験センター

## 試験試料

検体No.	ロット番号
生地 滅菌S	—

試験菌種: *Escherichia coli* NBRC 3972

検体No.	n数	コロニ数/ml	希釈倍率	CFU/ml	Average (CFU/ml)	NT / NC
不活性化剤のみ(NC)	1	140 141	1	1.4E+02	1.3E+02	—
	2	123 124	1	1.2E+02		
	3	125 130	1	1.3E+02		
生地 滅菌S (Nd)	1	116 123	1	1.2E+02	1.2E+02	0.903
	2	110 114	1	1.1E+02		
	3	123 121	1	1.2E+02		

# 試験報告書

依頼者 株式会社 l l i n e

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 本報告書中

表題 抗菌性試験

2020 年 08 月 20 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。



JNLA 030182JP

## 抗菌性試験

### 1 依頼者

株式会社 1Line

東京都港区海岸3-5-10第1東運ビル ウェアハウス内3F

### 2 検体

1) 菌滅スプレータイプ

2) 菌滅スプレータイプ 比較用 無加工品

### 3 試験概要

#### 1) 試験片前処理

一般社団法人抗菌製品技術協議会 試験法 3. 抗菌加工製品の抗菌力持続性試験法 (2018年度版)(2)耐光性試験, 区分1(キセノンランプ 60 W/m<sup>2</sup>, 10±0.5時間照射)により, 検体の試験片前処理を行った。

なお, 試験片前処理はJNLA登録区分範囲外である。

#### 2) 抗菌性試験

JIS Z 2801:2012「抗菌加工製品-抗菌性試験方法・抗菌効果」5 試験方法により, 検体の抗菌性試験を行った。

なお, 検体は清浄化を行わずに試験に供した。

### 4 試験実施施設

一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所

大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4番41号

### 5 試験責任者

一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所

微生物部 微生物研究課

太田 知克

**6 試験開始日**

2020年11月06日

**7 試験結果**

結果を表-1に、 $U_0$ 、 $U_t$ 及び $A_t$ の値を表-2に、次式により算出した抗菌活性値を表-3に、試験に用いた試験片、フィルム及び試験菌液の概要を表-4に示した。

$$R = (U_t - U_0) - (A_t - U_0) = U_t - A_t$$

$R$  : 抗菌活性値

$U_0$  : 無加工試験片[検体2]の接種直後の生菌数(/ $\text{cm}^2$ )の対数値の平均値

$U_t$  : 無加工試験片の24時間後の生菌数(/ $\text{cm}^2$ )の対数値の平均値

$A_t$  : 検体1)の24時間後の生菌数(/ $\text{cm}^2$ )の対数値の平均値

表-1 試験片の生菌数測定結果

試験菌	試験片 前処理	測定	試験片	試験片1 $\text{cm}^2$ 当たりの生菌数		
				測定-1	測定-2	測定-3
黄色 ぶどう 球菌	実施せず	接種直後	無加工	$1.9 \times 10^4$	$2.0 \times 10^4$	$1.9 \times 10^4$
		35 °C	無加工	$2.3 \times 10^4$	$6.0 \times 10^3$	$8.1 \times 10^3$
		24時間後	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63
	耐光性試験	接種直後	無加工	$1.4 \times 10^4$	$1.4 \times 10^4$	$1.5 \times 10^4$
		35 °C	無加工	$2.3 \times 10^4$	$1.7 \times 10^4$	$2.0 \times 10^4$
		24時間後	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63
大腸菌	実施せず	接種直後	無加工	$9.2 \times 10^3$	$1.1 \times 10^4$	$1.1 \times 10^4$
		35 °C	無加工	$5.3 \times 10^5$	$5.7 \times 10^5$	$7.7 \times 10^5$
		24時間後	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63
	耐光性試験	接種直後	無加工	$1.2 \times 10^4$	$1.0 \times 10^4$	$1.2 \times 10^4$
		35 °C	無加工	$7.9 \times 10^5$	$8.2 \times 10^5$	$1.6 \times 10^5$
		24時間後	検体1)	<0.63	<0.63	<0.63

黄色ぶどう球菌 : *Staphylococcus aureus* subsp. *aureus* NBRC 12732

大腸菌 : *Escherichia coli* NBRC 3972

無加工試験片 : 検体2)

<0.63 : 検出せず

表-2  $U_0$ ,  $U_t$ 及び $A_t$ の値

試験菌	試験片前処理	生菌数の対数値の平均値	
		$U_0$	$U_t$
黄色 ぶどう 球菌	実施せず	$U_0$	4.286
		$U_t$	4.016
		$A_t$   検体1)	<-0.201
	耐光性 試験	$U_0$	4.156
		$U_t$	4.298
		$A_t$   検体1)	<-0.201
大腸菌	実施せず	$U_0$	4.016
		$U_t$	5.789
		$A_t$   検体1)	<-0.201
	耐光性 試験	$U_0$	4.053
		$U_t$	5.672
		$A_t$   検体1)	<-0.201

表-3 抗菌活性値

試験菌	試験片前処理	対 象	抗菌活性値*
黄色 ぶどう 球菌	実施せず	検体1)	>4.2
	耐光性試験	検体1)	>4.4
大腸菌	実施せず	検体1)	>5.9
	耐光性試験	検体1)	>5.8

\* 抗菌効果 : 2.0以上

表-4 試験に用いた試験片、フィルム及び試験菌液の概要

区 分		抗菌加工	無加工
試験片	種類	検体1)	検体2)
	大きさ	約5 cm×5 cm	約5 cm×5 cm
	形状	正方形	正方形
	厚み	約0.3 mm	約0.2 mm
	清浄化の方法	実施せず	
フィルム	種類	ポリエチレンフィルム	
	大きさ	約40 mm×40 mm	
	形状	正方形	
	厚み	約0.05 mm	
試験菌液の 接種量	黄色ぶどう球菌	0.4 mL	
	大腸菌	0.4 mL	
試験菌液の 生菌数	黄色ぶどう球菌	前処理実施せず : $9.3 \times 10^5$ /mL	
		耐光性試験 : $5.5 \times 10^5$ /mL	
	大腸菌	$5.8 \times 10^5$ /mL	

以 上

発行責任者：一般財団法人日本食品分析センター 東京本部

レポートセンター 課長 新井 武子



本報告書の全部又は一部の無断  
転載転用を固くお断りします。

KAKEN

No. HL-21-021845R

## 試験報告書

依頼者 株式会社 1Line 殿  
品名 生地 1点  
試験項目 抗かび性

2021年7月6日付けで当所に提出された試料の  
試験結果は、下記のとおりです。

2021年7月21日

カケン

〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目5番19号  
一般財団法人 **カケンテストセンター**  
大阪事業所 生物ラボ



記

### 試験結果

#### 1. クロカビ

試料		ATP mol 量の常用対数値		抗かび活性値
		胞子液接種直後	42時間培養後	
① ウール生地1枚(菌滅除菌)	原品	-10.3	-11.4	3.1
標準布(綿100%、白布)		-10.2	-8.2	—

#### 2. 白癬菌

試料		ATP mol 量の常用対数値		抗かび活性値
		胞子液接種直後	42時間培養後	
① ウール生地1枚(菌滅除菌)	原品	-10.3	-10.4	2.3
標準布(綿100%、白布)		-10.3	-8.1	—

試験方法: JIS L 1921:2015、吸収法 (ISO 13629-1:2012 準用)

供試かび: クロカビ・ *Cladosporium sphaerospermum* NBRC 6348

白癬菌・ *Trichophyton mentagrophytes* NBRC 32409

試料

①

KAKEN KAKE:

以上

本報告書に記載の試験結果は供試々料に対するものであり、荷口(ロット)全体の品質を報告するものではありません。  
事業所朱印のない報告書については、当財団は一切責任を負いかねますので、念のため申し添えます。

確認	作成

本報告書の全部又は一部の無断転載転用を固くお断りします。

KAKEN

No. HL-21-049552(1)

## 試験報告書

依頼者 : 株式会社 lLine 殿  
品名 : 生地<菌滅除菌 ウール生地 5枚> 1点  
試験項目 : アンモニアガスの除去性能評価試験 ほか

2021年11月11日付けで当所に提出された試料の試験結果は下記のとおりです。

2021年11月15日

**カケン**

〒332-0016

埼玉県川口市幸町1丁目7番22号

一般財団法人

**カケンテストセンター**

東京事業所 分析ラボ

Tel (048)-258-3279 Fax (048)-258-3287

記

### 1) アンモニアガスの除去性能評価試験

試料*	初発濃度 (ppm)	2時間後	
		ガス濃度 (ppm)	減少率 (%)
生地<菌滅除菌 ウール生地 5枚> 原布	100	1.1	99以上
ブランク (空試験)	100	78	—

### 2) 酢酸ガスの除去性能評価試験

試料*	初発濃度 (ppm)	2時間後	
		ガス濃度 (ppm)	減少率 (%)
生地<菌滅除菌 ウール生地 5枚> 原布	30	0.5以下	98以上
ブランク (空試験)	30	26	—

### 3) イソ吉草酸ガスの除去性能評価試験

試料*	減少率 (%) [2時間後]
生地<菌滅除菌 ウール生地 5枚> 原布	98

\*上記試験結果は、当センター発行報告書 HL-21-046608 (2021. 11. 5) より転記

試験方法 : 消臭加工繊維製品認証基準で定める方法<(一社)繊維評価技術協議会>

提示試料



以上

本報告書に記載の試験結果は供試々料に対するものであり、荷口 (ロット) 全体の品質を報告するものではありません。事業所朱印のない報告書については、当財団は一切責任を負いかねますので、念のため申し添えます。

確認 作成

